

導入事例②：

# 農場におけるソーラーシェアリング導入 に関する事例発表

市民エネルギーちば株式会社

山内 猛馬

## 1. 自然生態系への配慮

脱炭素型の農業、有機農業 & 不耕起栽培  
BDF、暗渠・明渠

## 2. 地域社会の課題解決

余剰農地の買取や有効利用、地域協賛金の拠出  
営農者育成、地域外からの関係人口の増加により活性化

## 3. 農業経営への貢献

耕作協力金の拠出 農作物の高値買取

## 4. 再エネの持続可能性

太陽光発電で再生可能エネルギーを創出  
作物の光合成によるCO<sub>2</sub>の地中固定、GHGクレジット化

MIN-ENE

TERRA

# ミライ農業 -収入の多層化-

## 作物だけの収入

- いかに量を増やすか？
- いかに単価を上げるか？
- いかに経費を下げるか？



後継者不足  
耕作放棄地 増大

パネルからの売電収入

固定資産税 行政収入

カーボンファーマーミング  
有機栽培

企業連携  
社食として提供  
ワーケーション  
農産物の六次加工

農作物売上

GHGクレジット

# 営農型太陽光発電のポテンシャルと特徴

## 社会的/市場的背景



山の稜線を壊す ソーラー設備への逆風



地域から 呼んでももらえる 再エネへ

# 営農型 太陽光 発電

## 特許取得（2004年）

CHO技術研究所の長島彬氏が考案

太陽光発電と作物で太陽の光を分かち合う仕組み

農地の上約3mに間隔を空けて太陽光パネルを設置、その下で耕作を行う



## 農水省指針（2013年3月31日通達）

省令（2024年4月1日施行）

農地の一時転用許可期間 3年以内→10年以内に延長

農業法人による発電事業の認可

農水省が「望ましい営農型太陽光発電に関する検討会設置

2026年度中に農地法・省令に基づく統一ガイドラインが策定される可能性大

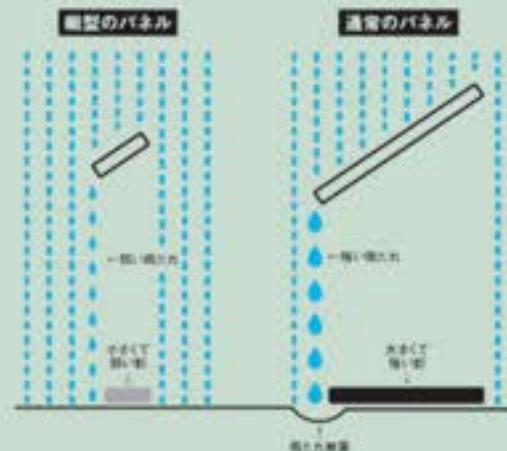
南北方向に細型の太陽光パネル  
遮光率は3分の1程度

営農型  
太陽光  
発電

# 細型パネル採用のメリット

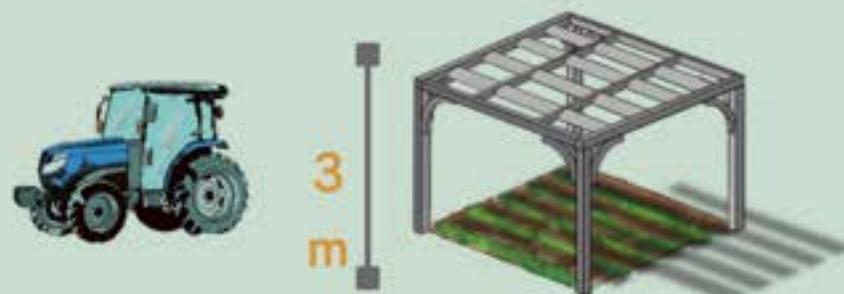
必ず作物に光が当たる  
雨だれの影響が小さい  
風圧荷重が小さい

(細形パネルなら雨だれによる影響も少ない)



50種類以上の作物は元気に育つ  
(2010年から千葉県市原市で実証実験中)

2019年9月の台風15号で観測された最大瞬間風速50m/sの風でも被害なし



An aerial photograph of a vast solar farm. The solar panels are arranged in neat, parallel rows across a green field. In the background, there are rolling green hills and mountains under a clear blue sky with some light clouds. The overall scene is bright and open.

# みんなエネ21・22号機の事例

## みんエネ21号機



## SPEC

設備容量：49.5kw

DC出力：72.6kw

過積載率：146%

遮光率：33.9%

設備面積：1,113.75m

使用PCSH uaw ei製4.95kw x10台

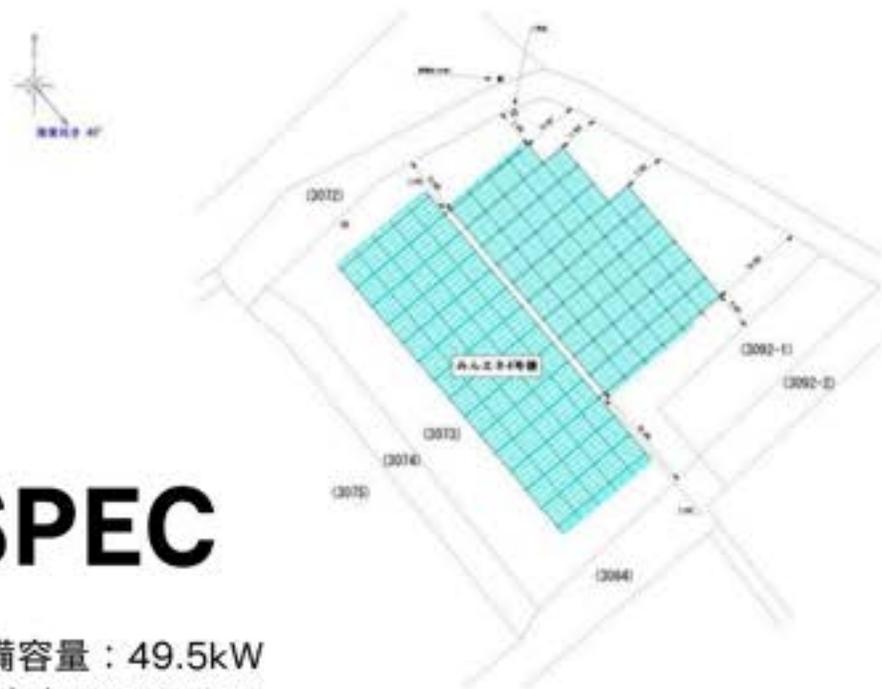
使用パネル：AGT製165 w両面受光

## みんなエネ22号機

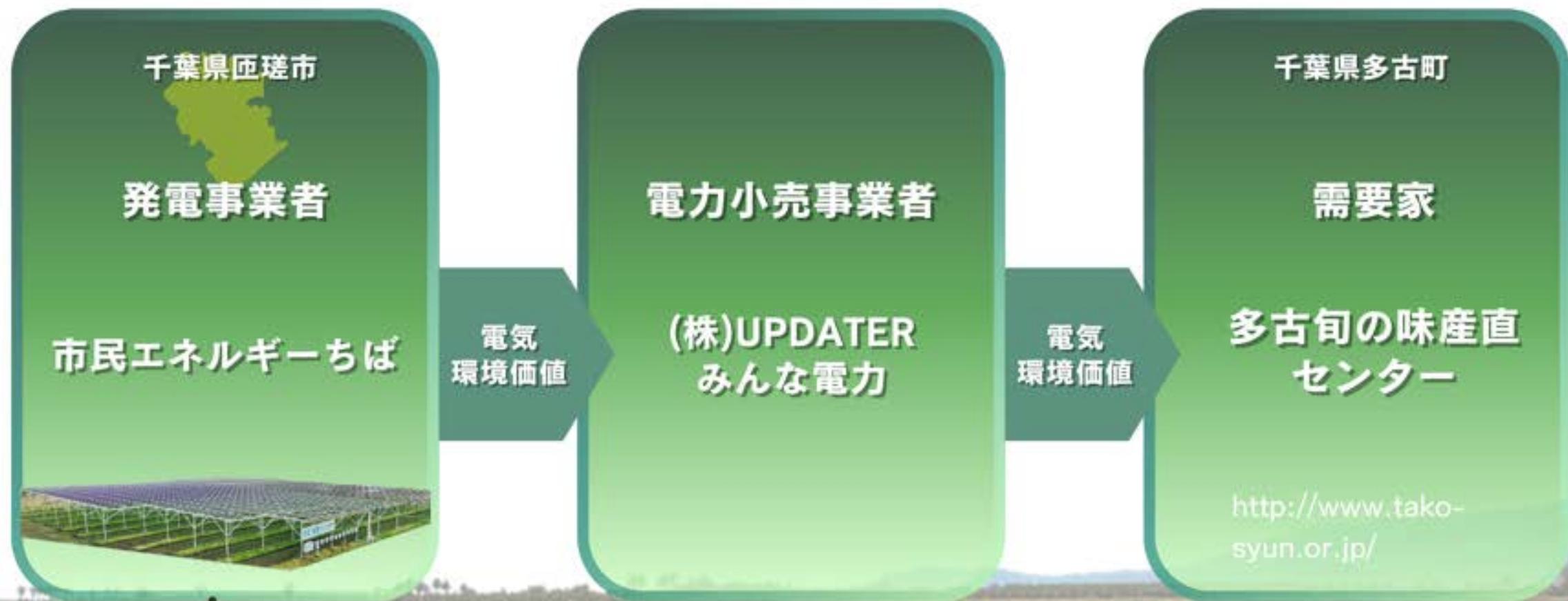


## SPEC

設備容量：49.5kW  
DC出力 75.405kW  
過積載率：152 %  
遮光率：35%  
設備面積：1,107.79m<sup>2</sup>  
使用PCSH uaw ei製4.95kWx10台  
使用パネル：AGT製165w両面受光



# オフサイトPPA

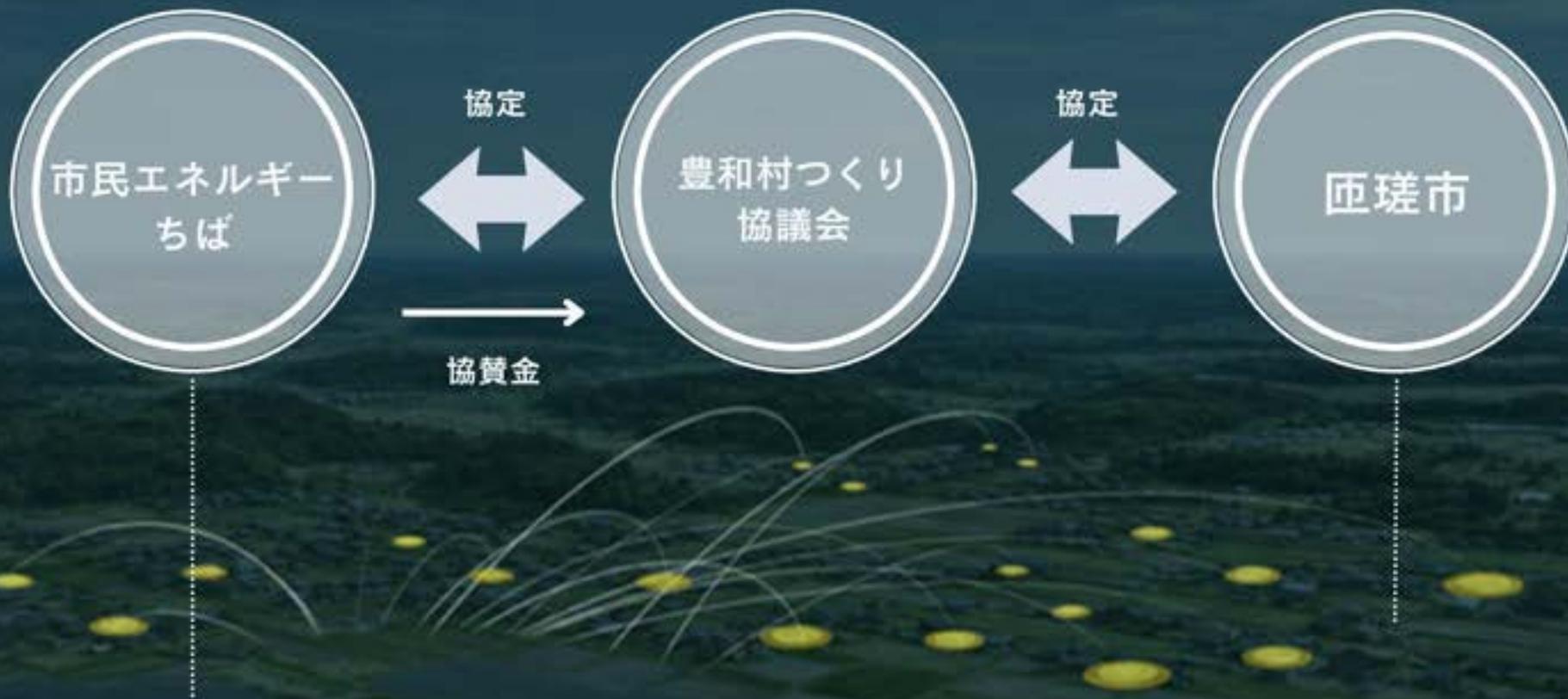


送電網を使って電気を提供

# 匝瑳市との災害協定

災害時のオペレーションを実施

地域住民への電力解放



# 申請から系統連携まで10ヶ月



# Perovskite

ペロブスカイト太陽光電池 「ミライ」



202 5.1. 17 浅尾環境大臣ご視察



軽量で、風や地震・雪などにも強い 独自開発1列セルシステムの活用もスタート (2022年度)

# 環境省掲載

## 地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業に関する事例

### ● 営農地事業

1. AWファーム千歳太陽光設備設置事業 (三菱HCキャピタル株式会社)
2. 営農型・現地消費型太陽光発電設備設置事業 (株式会社ダイバーシティーズ)
3. みんエネ21号機 (飯塚3335畑)、みんエネ22号機 (飯塚3073畑) ソーラーシェアリング整備事業 (市民エネルギーちば株式会社)
4. 城端山文第一発電所に伴う太陽光発電設置事業 (有限会社山文) ... [2025年3月追加掲載]
5. 社会福祉法人 向陽福祉会 ソーラーシェアリング事業 (社会福祉法人向陽福祉会) ... [2025年3月追加掲載]
6. ブルーベリーソーラーシェアリング用太陽光設備設置事業 (TODA農房常総合同会社) ... [2025年3月追加掲載]

[https://www.env.go.jp/earth/post\\_93.html](https://www.env.go.jp/earth/post_93.html)

## 環境省営農型太陽光発電紹介資料

**営農地を活用した太陽光発電の導入について**

**営農型太陽光発電とは**

- 一般に営農地を有効活用し、農地に太陽光発電設備を設置することにより、農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。
- 太陽光発電設備の設置により、農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。
- 農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。

**営農型太陽光発電のメリット**

- 発電能力の有効活用と農産物の収量向上**  
農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。
- 農地と太陽光発電の両立**  
太陽光発電設備の設置により、農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。
- 農地の高度・維持・管理に役立つ**  
太陽光発電設備の設置により、農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができます。

**注意**

太陽光発電設備の設置には、農地の生産性を向上させるための対策が必要です。また、農地の生産性を向上させるためには、農地の生産性を向上させるための対策が必要です。

**営農型太陽光発電の導入事例**

事例名	AWファーム千歳太陽光設備設置事業
所在地	千葉県千歳市
導入時期	2023年
導入面積	約100ha
導入事業者	三菱HCキャピタル株式会社
導入目的	農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすこと
導入効果	太陽光発電設備の設置により、農地の生産性を向上させ、農家の収入を増やすことができた



**MIN-ENE**

